

第3回こおりやまエリアプラットフォーム
(2020.2.7)
報 告 書

行政マネジメント課

文 化 振 興 課

＜A グループ＞

No	自治体名・会社名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	郡山市

【グループ討議】

- ・ 指定管理者を財団から民間へシフトが必要（純民間に求めていけるといい）
- ・ 指定管理者を財団から民間へシフト（もっと民間の力を使うべし、民間の力＝市・国の財産）→ コンペ形式で募集（企画、運営、営業等総体的にプレゼン）
- ・ 指定管理者を財団から民間プロモーターへシフト
- ・ 楽都郡山に相応しい演目を選んでくれるような運営会社が必要。
- ・ 市民活動を大事にしながら、自分たちの場所と認識してくれるようにすべき。
- ・ 運営一体型の PPP/PFI が有効な事業規模である。
- ・ 仕様については、地元企業に仕事を振る仕様にする、お金の回りがよくなる。
- ・ 2000 席のホールの活用を最優先に。
- ・ バリアフリー化は当然やる。
- ・ 駐車場の整備（立体で且つ小規模） → コンサートに来る人のためだけは不要
- ・ 郡山は仙台から 40 分、東京から 80 分のため、毎月著名な方（演奏者など）を呼べば人が集まるのでは。定期公演の拡充が必要。
- ・ 定期イベントは運営事業者のネットワークを活用し、東京・宮城から人が来るように。
- ・ PFI は地元民から敬遠されるためしっかりとした説明が大事
- ・ 特別会議室をカフェ・レストラン等に改修（日替りメニューあったらなおよし）
→ 特別会議室利用者を第 1 ～ 4 会議室で対応
- ・ 会議室の利用低い → 近隣の「中央公民館」で十分なため、カフェなどに改修
- ・ 郡山は、ホテルでの会議が多く、競合相手が多い。
- ・ 1F 売店（シャッター）をオープンカフェ仕様にする。
- ・ 諸室活用（フリースペース、吹き抜け活用）→PFI の自主事業としての提案を求める。
- ・ 使いにくいイメージがあり、ミラーガラスは時代遅れのため、取り除きオープンカフェを入れたら目立つ。閉鎖的で開放感がない、高齢者に優しいバリアフリー求む。



< B グループ >

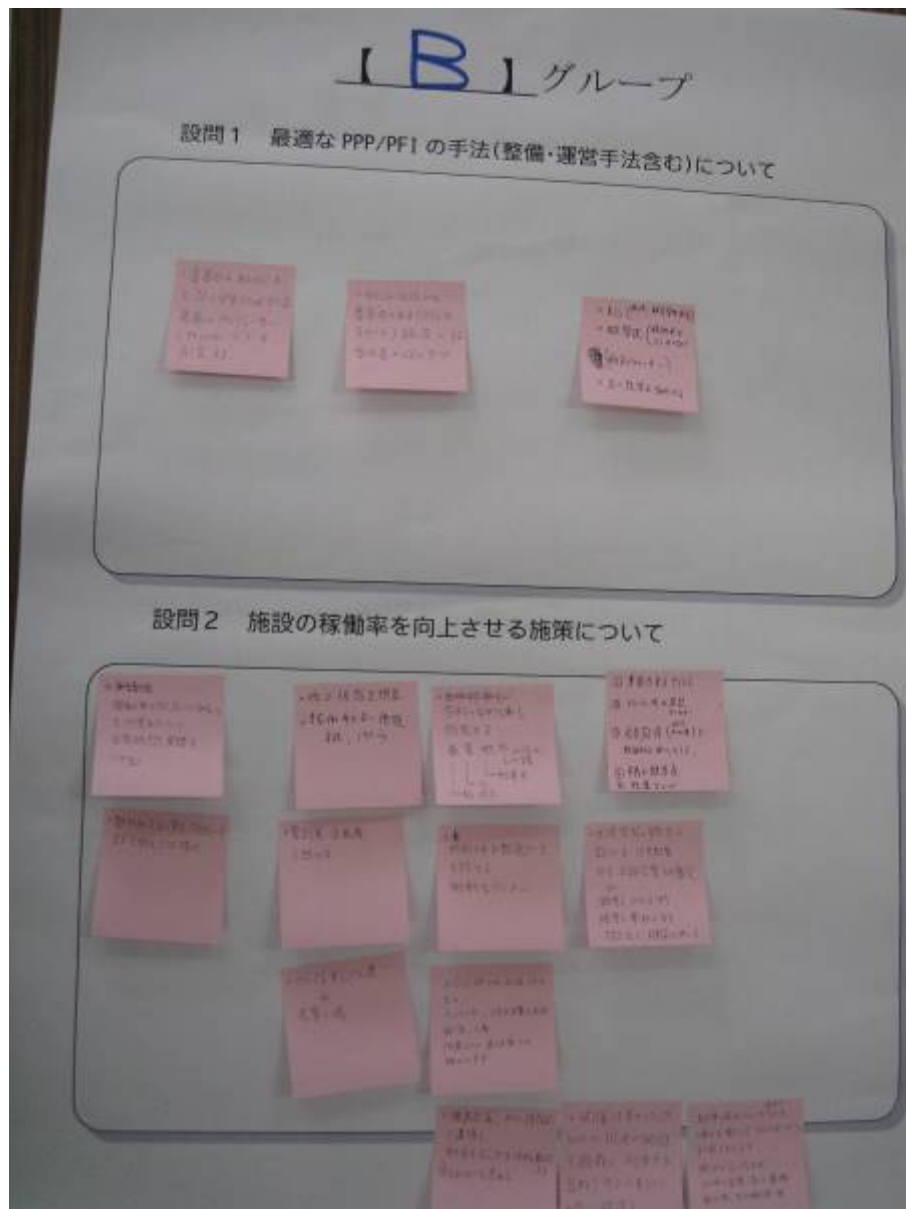
No	自治体名・会社名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	郡山市

【グループ討議】

- ・ 設問が大雑把で意見を出しにくい（概ね皆同感）
- ・ 「最適な…手法」と言っても、対象となる企業は電気設備の改修と施設の運営の両方を請け負える企業に限られる
- ・ 1社でその両方を受ける企業はあまりないような気がする。
となると JV(電設関係と管理関係とか)か？
- ・ シンプルに通常の改修工事と従前の指定管理という手もある
- ・ 現在のように他の文化施設（あまり収益が上がらなさそうな施設）との抱き合わせではなく、文化センター単体ならば手を挙げる企業もあるのではないか
- ・ 運営手法を考えるより先に、「何がしたいか」だと思う
- ・ 「稼働率の向上」というが、何パーセントまで上がれば「向上」とするのか、目標値の明記と説明がない
- ・ 事業以外で集客を図る方法はないか？（施設に来る目的を増やす）
- ・ 何でもいいので賑わいをつくれれば、飲食業だって成り立つかも
- ・ 駐車場にこだわる必要はない。ここ（文化センター）に行くこと自体に価値を見出せば、公共交通機関や徒歩でも良いのではないか？
- ・ 駅から文化センターまでの道のりを楽しむ方法はないのか？

【発表】

有力なプロモーター等にコネクションのある専属プロデューサーやアドバイザーの配置を行い、施設運営にテナントも取り入れるなど、受注者に対する魅力を向上、インセンティブを付与する。稼働率の良い施設は何をやっているのか調査が必要（ノウハウを学ぶ）である。常設展的により、人が来る仕組みを構築する。定例の年中行事（イベント）の開催、春夏秋冬、四季折々の催事（和室等の活用）、集客力のあるテナント（食事目的で施設に来てもらっても良い）、採算性を考えイベント開催時のみのテナント（キッチンカーなど）を地元企業の手で配置する。駅からくる人にターゲットとして「文化センター周辺の街歩きマップを配布」（駅からの道すがらの店とタイアップしてクーポン券や割引券を添付）して、歩いて行くのが楽しい（得する）施設にする。震災以来、度々災害に遭っているので、地域防災リーダーの育成等災害に備える教室は集客力があるのではないか。



<C グループ>

No	自治体名・会社名
1	
2	
3	
4	
5	
6	郡山市

【グループ討議】

【設問 2】について

- ・ 稼働率上げるにはターゲットを明確にするべき
- ・ お金を持っているのは高齢者だが、若い世代を取り込むことも必要か？
- ・ 他の文化ホールとの差別化
- ・ コスプレで人気になっている地方の施設もある。〇〇の聖地のように、コアな人が集まる場所にする。
- ・ 飲食店は欲しい、文化ホールに居酒屋や宿泊施設があっても良いと思う。
- ・ 富山の運河環水公園のスタバのような、目玉、人気の起爆剤になるような飲食店
- ・ 駐車場はあった方が良い
- ・ 麓山地区公共施設駐車場について、周知が足りない
- ・ ハード面だけ立派にしてもダメ、稼働率は上がらない
- ・ 運営面で考えれば、大ホールを埋める企画力のある運営者を選定する
- ・ ピアノ教室の発表会などは集客力ある
- ・ 指定管理者の見直し
- ・ 駅から少し離れてはいるが、東京からのアクセスは良い。それを生かして、県外（東京）からの集客を目指す（鈴木）
- ・ こおりやま広域圏のハブとなるような施設とする（大越）

【設問 1】

- ・ 現在の貸室（特別会議室や和室等）は使いづらそう
- ・ 民間が運営しやすいような貸室に改修すべき
- ・ 都市部では民間の貸しスペースが会議室を担っている
- ・ 周辺に中央公民館など会議室がある施設が他にもある
- ・ 運営を見すえた施設にできるよう、整備と運営・管理は一括で発注すべき

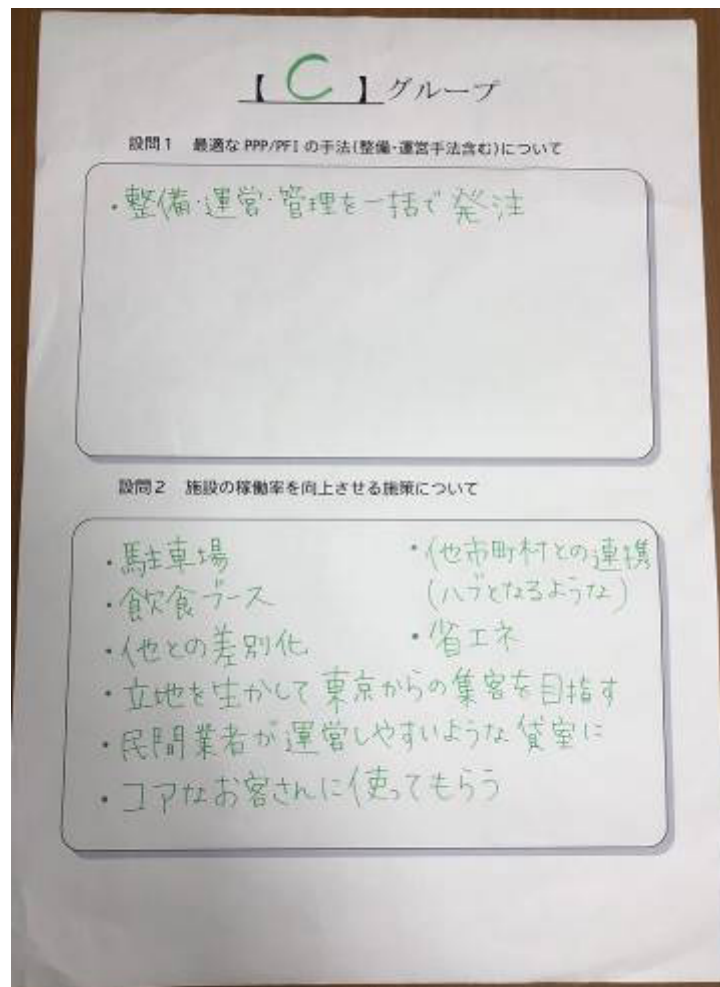
- ・ 太陽光や水の再利用など、ランニングコスト下げのための整備の検討

【その他】

- ・ 音楽に特化したホールにしたいのか、多目的に使えるホールにしたいのか、目指す方向がわからない。
- ・ 現在の施設ありきの話と受け取られたため、大きな転換の話は出なかった。
- ・ 設計、建設関係の方ばかりだったので、運営面の具体的なアイディア不足

【発表】

すべて一体型の整備で PFI を導入すべき、駐車場、看板、飲食ブースは新たに設置すべき。他の施設との差別化を図る必要がある。東京から見たら近いし、都市からのビジネスモデルとして活用すべき。エネルギー改修、貸室へのリニューアル、コアな客層向けのもの、他自治体のハブ機能となるように整備すべきである。



<Dグループ>

No	自治体名・会社名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	郡山市

【グループ討議】

【設問2】

- ・ 専用駐車場がなく、中央図書館に停める場合、坂道がキツイ上、満車になることが多い。
- ・ 広域圏からの利用客は、本数の少ない鉄道ではなく車移動がメインと考えられるため、広域圏をターゲットにするなら駐車場は必須。
- ・ 隣接の公園（荒池東公園等）の敷地の一部を駐車場として整備するもの良い。
- ・ 駅から文化センターへのバス本数が少ない。
- ・ ベビーカー利用客の動線が必要。
- ・ 乳幼児を受け入れられる施設にする必要がある（キッズスペースや託児室）
- ・ 土日の稼働率は高いので、平日の稼働率を上げる方策を考えるべき。
- ・ 平日は市民の利用を増やすための方策が必要。（主婦・子連れ・シニア世代向け）
- ・ ファミリー世代、シニア世代への対応にはバリアフリー化は必須。
- ・ 洋式トイレ化は、トイレの数を減らしてでも必要。
- ・ 練習室やリハーサル室からホールへの動線が悪い。大きな楽器を利用する団体には移動が大変。合唱でも階段の上り下りが大変。（現地確認で感じた）
- ・ イベントが無い時に立ち寄ったり滞在したりする機能がない。（カフェなど）
- ・ 学生向けの勉強スペースを作り、立ち寄ってもらう（中央図書館や中央公民館の勉強スペースが埋まっている場合に利用してもらう）。
- ・ 音楽関係のイベントは既に豊富なため、音楽以外の文化的なイベントを開催することで、新たな機能を付与して、既存の利用客以外の層を呼び込む。
- ・ ダンス大会の会場として利用できないか。
- ・ 美術展を展示室ではなくホールで行う。実演をしても面白いのではないか。
- ・ テアトルなどと連携協定を結び、臨時的な映画館とする。音響は素晴らしいし、迫力が出る。また、松竹芸能や吉本興業と連携協定を結び、お笑いライブを積極的に開催する。

- ・ 音楽に興味のない層が文化センターを訪れることで、音楽にも興味を持ってもらう。
- ・ 中央図書館、中央公民館、公文書館との連携により文教施設としてのゾーニングをする。

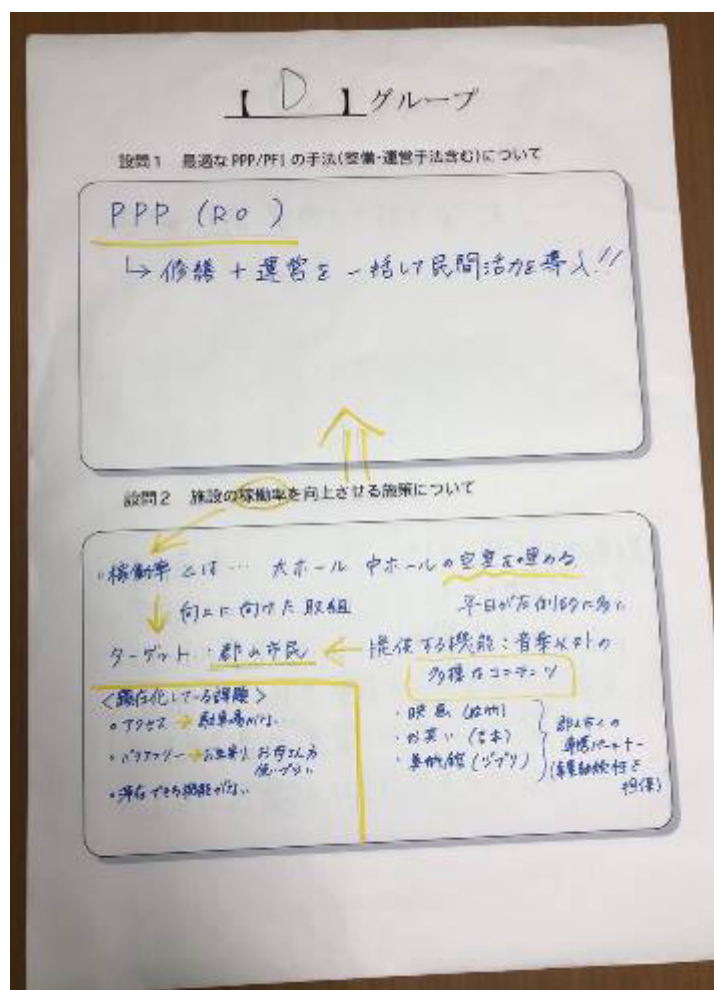
【設問1】

- ・ 整備手法はR0。
- ・ 電気設備の大規模更新の際に1年程度閉館されるため、その間にできる改修を行う。
(説明が1年程度であったため、建替等の意見が出づらい状況だった)
- ・ バリアフリー化、託児室、勉強スペースの整備。
- ・ 音楽以外の多様なコンテンツに対応する改修と運営上の提案をセットで募集する。

【発表】

稼働率向上のための空きコマの対応を検討した。平日利用のため、ターゲットを親子向けに設定し、キッズスペースやベビーカーの動静が必要。麓山に建設予定の「立体駐車場」には、文化センター分の台数を確保すべき。

現状を活かし、R0方式で整備し、アート化、映画鑑賞等の内容を民間企業との連携協定を締結し、事業内容の充実を図る必要がある。



< E グループ >

No	自治体名・会社名
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	郡山市

【グループ討議】

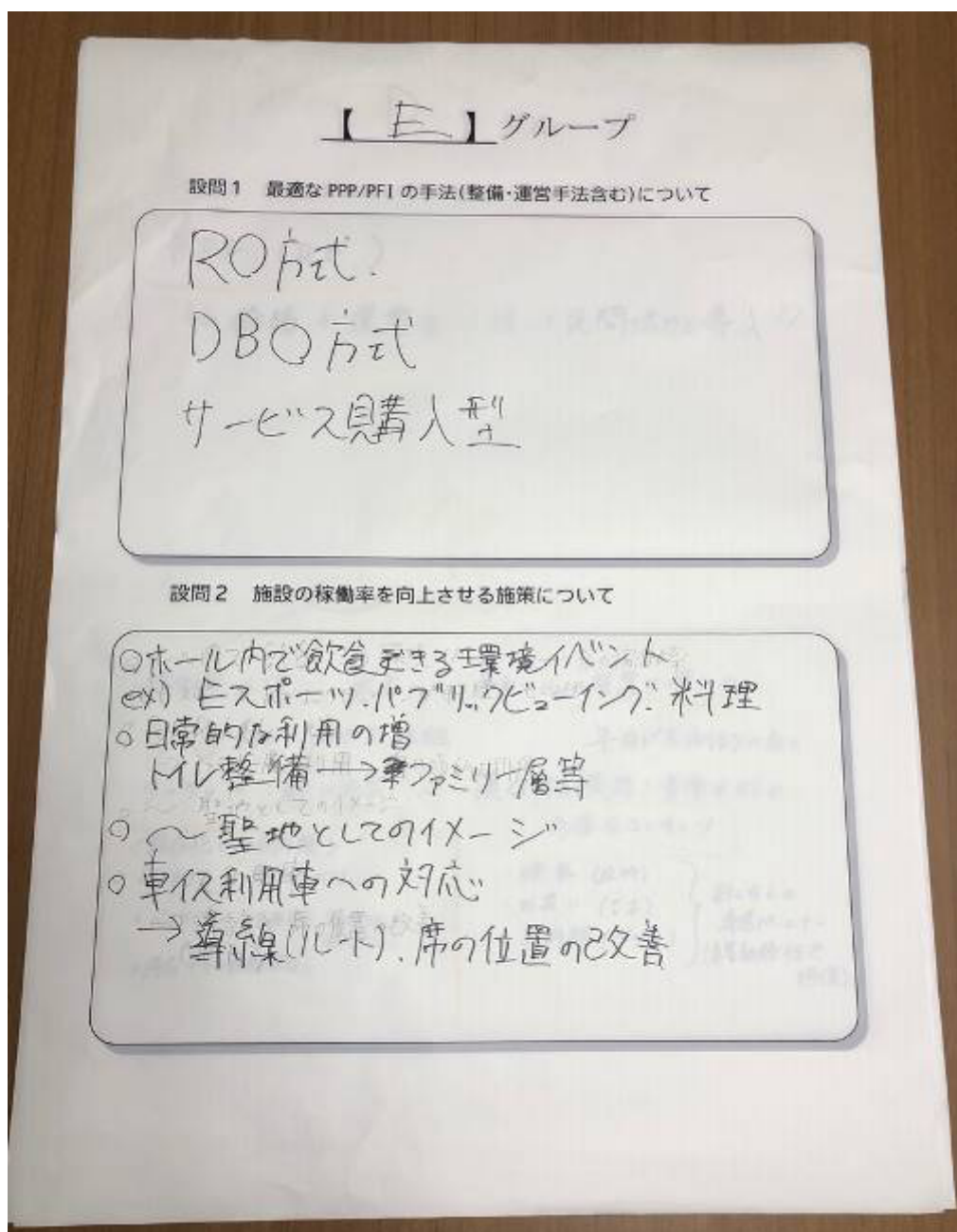
- ・ ホール内での飲食を可能とし、座席にドリンクホルダーを設置
→ お酒を飲みながらパブリックビューイングやEスポーツ、ジャズが楽しめる。
料理イベントも可能。夜間の稼働率がアップ
- ・ ホールでのイベントに限らず、毎日音楽に触れられる環境を整える（演奏はボランティアやアマチュアなど）
- ・ きれいなトイレを整備する
- ・ 共用スペースを学生の自習等に開放、カフェスペースを設ける
→ 日常的に施設に足を運んでもらうことで、事業にも関心を持ってもらえる
- ・ 車椅子利用者の条件改善
Ex) 車いす席は端ではなく特等席にする。
通路傾斜をもっと緩やかにする。
車いすの入り口を自動ドアにする。
通路が狭いため、目線が低いと圧迫感を感じる。
- ・ 試験的な店舗（飲食店）の入居を認める。
- ・ 文化センターで演奏することが演奏家の憧れであり、音楽の聖地となるような施設とするべき
- ・ 駐車場の整備、周辺の公共駐車場はアピール不足
- ・ 公共間で観光客を共有する。広域の拠点へ。ツーリズムの拠点（東京にも視野）
- ・ 合唱が盛んであるが有名ではない→市民が力を入れていることをプッシュ
- ・ 富山の世界一のスタバのような有名になるものを入れる

【発表】

設問2から考えた。ホールで飲食、パブリックビューイングができるように改善する。ニラクと連携し、eスポーツの拠点、あらゆる形で音楽に触れてもらう。自習室、トイレを整備して、気軽に寄ることができるホールへ転換する。施設案内を通して、現状のままだと車いす利用者が虐げられているように感じた。

「聖地・メッカ」として、「ここで演奏したい」と思われるような施設に。

なお、運営一体型の(R0・BT0(DB0))をサービス購入型で実施すべきである。



< F グループ >

No	自治体名・会社名
1	
2	
3	
4	
5	
6	

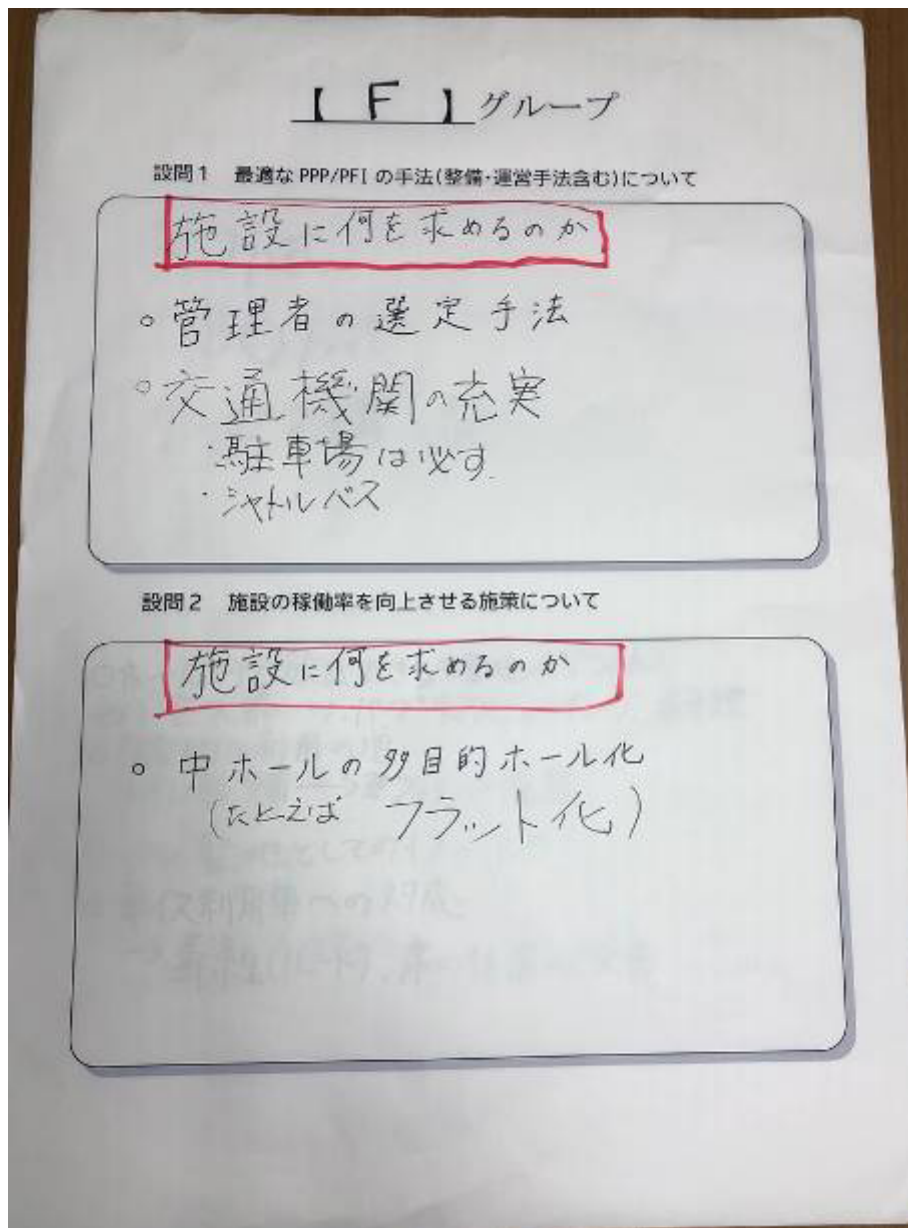
【グループ討議】

- ・ 楽都郡山と言っていたが、市民として文化センターを利用する気にならない。
- ・ 指定管理者制度を導入しているが、今はただ管理しているだけではないか。それであれば、他の民間企業に任せの方が良い。
- ・ 指定管理料 2 億の内訳を知りたい。そんなにかかる施設なのか疑問。
- ・ 平日でも人が来る仕組みが必要
- ・ トイレは、和式のものがあり、使いづらい
- ・ 時代の変化に伴って、「階段」が多いなと感じる。イメージ自体も古い。
- ・ 指定管理者がもっとしっかりしないとダメ
- ・ 会議室の利用がないのであれば、減築も手法の 1 つ
- ・ 敷地内の有効活用が微妙である。もっとやりようがあるはず。
- ・ 稼働率向上のためには「使用料」の額が妥当であるかを検討する。
- ・ 稼働率向上のために学校行事に多用すると収益が見込めない。
→ 稼働率を上げて、収益が得られるように対応すべき
- ・ 指定管理者が作成している「パンフレット」を見ても行きたいイベントはない。
- ・ カネになるコンサートの開催もない。
- ・ 設備の劣化がランニングコストを押し上げる。

【発表】

「施設に何を求めるか」が重要であり、指定管理者の選定方法を見直す（人件費を除いて内容を高めるためのプロポーザルを実施する）必要がある。「楽都」というのであれば、相応のカネを出すべき。また、駅からのシャトルバスサービス等交通面の充実が必要。

稼働率については、特に中ホールの稼働率の低さに課題があると思う。中ホールは他市に任せて、ホールをフラット化して多様な使い方を検討すべき。



<吉崎副市長あいさつ>

PFI 手法ではないが、PPP/PFI の1つとして西部工業団地内の公園に設置許可制度によりローソンが入っている。

カルチャーパーク、市営住宅、開成山公園等文化施設以外でも PFI の検討が可能である。

逆に市街地である「文化センター」は現状のままの「指定管理者制度」が良いのか、または、それ以外のどんな PPP 手法が良いのか、それとも数百億かけて建替えを行うのか、議論いただきたい。

<金谷先生の講評>

ワークショップのテーマの検討の順番を各グループが否定したことで、参加者がよく考えてくれているとわかった。PPP/PFI 手法は道具であるので、設問が悪い。

また、「にぎわい」「活性化」の核となるよう、改修・整備してほしい。

成功している事例を見ると「図書館」のような「日常」の空間に「ホール」という「非日常」が融合されて、活性化を生む。

当該文化センターに「日常性」をどう持たせるのかが今後のキーワードである。

■ アンケート集計結果

【エリアプラットフォームの感想について】（主な意見抜粋）

- ・ 運営手法については、成功事例を真似る事がいいこと。
- ・ 稼働率を本当に上げたいのか、本当にこの施設がこの場所に必要なのか。
- ・ 敷地内、近隣に駐車場がほしい。
- ・ 活発な議論で楽しかった。
- ・ アイディアは「限度なく出ること」を楽しめたワークショップだった。
- ・ 人口減少によるスリム化と広域対応が求められている。
- ・ 指定管理者の選定（競争）について一考する必要がある。
- ・ テーマの意図がわからない。先生の話をもっと聞きたい。
- ・ グループワークではなく、業者への意見を聞くサウンディングを実施してほしい。
- ・ 一般市民（企業以外）も参加すると良い。
- ・ 設問をブレイクダウン（詳細化）すべき。
- ・ 資料3「建築延面積」という言葉はない。正確な単語でお願いしたい。
- ・ 市の目指すもの、目標を明確にしてほしい。
- ・ 設問の「稼働率向上」と「市民ニーズ」が噛み合っていない。稼働率向上を図るのであれば、市民が「来てみたい」「見たい」ニーズを把握することが必要では。
- ・ 市はどのような理想を持っているのか、触れた方が、論点がまとまる。
- ・ グループ毎の発表をまとめて送付希望。

【次回開催に対する意見について】（主な意見抜粋）

- ・ 施設見学は是非毎回お願いしたい。
- ・ 市役所に寄せられる「市民の声」の案件を議論してはどうか。
- ・ 今後も継続していただきたい。
- ・ 設問がアバウト、コンパクトな設問で現実味を。
- ・ グループワークの時間の減少（集中力が持たない）
- ・ 駐車場のある施設で開催を。